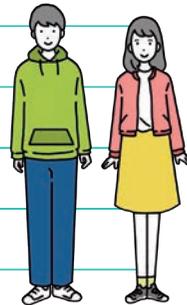


ジブンの生き方を選択するために。

この先の人生に待っている、
いろんなこと。
知ることから、自分たちの未来を
具体的に想像してみよう！

いまの気持ちに近いものをチェック！

- 将来子供がほしいと思っている
- 不妊治療のことはよく分からない
- パートナーと子供の話をしたことがない
- ライフプランはまだあまり考えていない
- 里親って言葉は知っているけど、馴染みがない



一つでも当てはまったら、詳しく読んでみよう！

妊娠・出産

歳を重ねると変わるから、
早めに知っておきたい、妊娠・出産のこと。

年齢と妊娠の関係

・卵子の減少について

卵子は出生後に新たに作られることがなく、減少し続け、年齢とともに妊娠しにくくなります。(右グラフ参照)

・男女の年齢による妊娠率の変化

女性の妊娠率は19~26歳で約50%、27~34歳で約40%、35~39歳で約30%と減少。男性視点では、パートナーが妊娠するまでの期間が、20代で約6ヵ月、30代~40代前半で約10ヵ月、40代後半では約1年半と、男性の加齢も妊娠率に影響していきます。

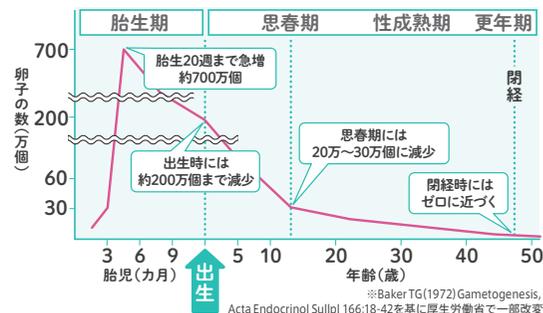
※Human Reproduction Vol.17, No.5 pp. 1399-1403, 2002
※Hum Reprod Update 16:65-79, 2010

年齢と妊娠・出産のリスク

・加齢による子供への影響

子供に先天的な異常が現れるリスクは年齢とともに増加します。また、周産期死亡率も高まります。

女性の各年齢における卵子の数の変化



不妊治療

ほしい時にすぐできる？
不妊もありえるから、計画は大切。

不妊の原因等について

・不妊に悩んでいる人の割合

不妊の心配をしたことのある夫婦は3組に1組を超え、その半数が、実際に検査や治療の経験があるといわれています。近年、不妊に悩む夫婦の割合は増加傾向にあります。

・女性側の不妊原因

排卵がうまくいかないケース、卵管が閉鎖したり狭くなっているケース、子宮筋腫をはじめとした子宮に原因があるケース、子宮頸管や免疫に原因がある場合などがあります。

・男性側の不妊原因

精子の形成や成熟が阻害されていたり、射精障害などが原因として挙げられます。複数の要因が重なる場合や、原因がわからないこともあります。



夫婦の

1組

3組

は不妊に悩んでいる!



様々な可能性を踏まえたライフプラン

・あなたが理想とする妊娠・出産年齢は？

妊娠・出産を望む場合、イメージする年齢で妊娠・出産できる可能性はどのくらいなのか、それを踏まえてライフプランを立てる必要があります。

里親

子供を迎え、一緒に暮らす。
意外と知らない、里親制度。

里親という選択肢

・そもそも里親制度とは

都内には、親の病気や虐待などの理由により、親と一緒に暮らすことのできない子供が約4,000人います。このような子供たちを自らの家庭に迎え入れ、育てているのが「里親」です。あくまでも、子供のための制度ですが、里親になるということも「子供を育てる」ということの一環になります。

・里親にはどうしたらなるの？

一定の要件(家庭の状況、収入の状況、住居の環境など)を満たしていれば、特別な資格は必要ありません。里親になるための必要な研修を受け、お住まいの地域にある児童相談所を通して申請をします。

養育家庭(里親)

養子縁組里親

	養育家庭(里親)	養子縁組里親
子供の年齢	原則0~18歳まで	原則15歳未満
生みの親との関係	法的関係は継続する	特別養子縁組成立後、法的関係は消滅する
戸籍上の扱い	記載されない(実親の戸籍に入ったまま)	特別養子縁組成立後、実子と同じく「長男」「長女」と記載される
親子の関係	児童相談所からの委託による養育関係	特別養子縁組の成立後、養親と法的に実親子の関係になる

